

知らない間に自分のパソコンを勝手に遠隔操作され、無差別殺人や爆破予告のメールを送信した犯人にされてしまうという事件が、大阪府と三重県で起きました。何者かが遠隔操作を可能にするウイルスを送り込み、本人になりすまして悪事を働いたというものです。

専門家によると、こうしたウイルスに感染すると、パソコンは犯人により意のままに動かされるだけでなく、

## 遠隔操作型に注意！

感染の痕跡や通信記録すら消去されてしまうタイプもあるようです。

遠隔操作ウイルスの侵入を防ぐには、基本ソフト（OS）を最新のものに更新することが第一。ウイルス対策ソフトも最新版に更新し続けることが重要です。

IT（情報技術）の世界は日進月歩。最新技術を悪用した犯罪も次々と現れます。安全対策を怠らないよう心がけましょう。

防犯一口メモ